要望書

国道34号大村諫早拡幅の整備促進を目指そう!!

国道３４号大村・諫早間整備促進期成会

国道３４号大村・諫早間整備促進期成会

会　　長	大 村 市 長	園 田　裕 史
副 会 長	諫 早 市 長	宮 本　明 雄
〃	大村市議会　議長	三 浦　正 司
〃	諫早市議会　議長	松 本　正 則
〃	大村商工会議所　会頭	中 村　人 久
〃	諫早商工会議所　会頭	黒 田　隆 雄
監　　事	大村市タクシー協会　会長	酒 井　辰 郎
〃	(一社)諫早観光物産コンベンション協会 会長	酒 井　明 仁
会　　員	長崎県央農業協同組合　代表理事組合長	辻 田　勇 次
〃	長崎県トラック協会　大村支部長	村 里　宏 治
〃	長崎県トラック協会　諫早支部長	本 田　清 秀
〃	諫早市タクシー協会　会長	永 尾　典 嗣
〃	(一社)大村市観光コンベンション協会　会長	酒 井　辰 郎
〃	(一社)大村市物産振興協会　会長	御 厨　幹 正
〃	長崎空港ビルデイング株式会社　代表取締役社長	中 村　昭 彦

早春の候　貴台におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より諫早市・大村市の道路行政全般に関し、格別のご高配を賜り、心から感謝いたします。

さて、本期成会の最重要課題である、一般国道３４号（大村～諫早）の４車線化につきましては、今年度、「大村諫早拡幅」として、待望の新規事業化となりました。事業について、ご尽力いただきました関係各位に、厚くお礼申し上げます。

諫早市・大村市は、長崎空港や長崎自動車道インターチェンジ、現在整備中である島原道路を基盤とした高速交通の拠点都市であり、県内の交通の要衝となっております。また、九州新幹線西九州ルートの２０２２年度開業に向けた整備が、着々と進められており、今後も産業・交流都市として更なる飛躍を目指しております。

つきましては、県央地域の発展のため、一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進に向けて、引き続き、より一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、大村拡幅の早期完成につきましても、併せて、お願い申し上げます。

国道３４号大村･諫早間整備促進期成会
会長　大村市長　　園　田　裕　史

要　望　事　項

一　地方創生に資する道路整備を重点かつ計画的に推進するため、公共事業関係費を増額すると共に、安定的かつ持続的な道路整備に必要な予算を確保することを要望いたします。

一　老朽化する道路インフラの適切な維持管理や更新ができるよう、老朽化対策予算の別枠確保及び平成３１年度の道路予算については、前年度を上回る規模で確保することを要望いたします。

一　県央地域の発展に大きく寄与する、
「一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進」
について要望いたします。

一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進について

本県を南北に走る主要幹線道路の一般国道３４号は、国において、諫早市の本野入口交差点改良（約６００ｍ）及び大村市の大村拡幅により４車線化され、渋滞緩和など一定の効果が現れています。

しかしながら、大村市の与崎から諫早市の本野間の４．４kmが２車線であることから、一日３万台にもおよぶ交通に対応できず、通勤時間帯を中心に混雑が常態化しており、また、交通事故が発生した場合には更なる渋滞が発生するなど、社会・経済活動の支障となっています。

本区間は、県央生活圏における交通ネットワークの重要な路線であり、当該区間の４車線化の早期の完成により、地域間交流が益々促進され、県央地域の更なる発展に大きく貢献するものとなります。

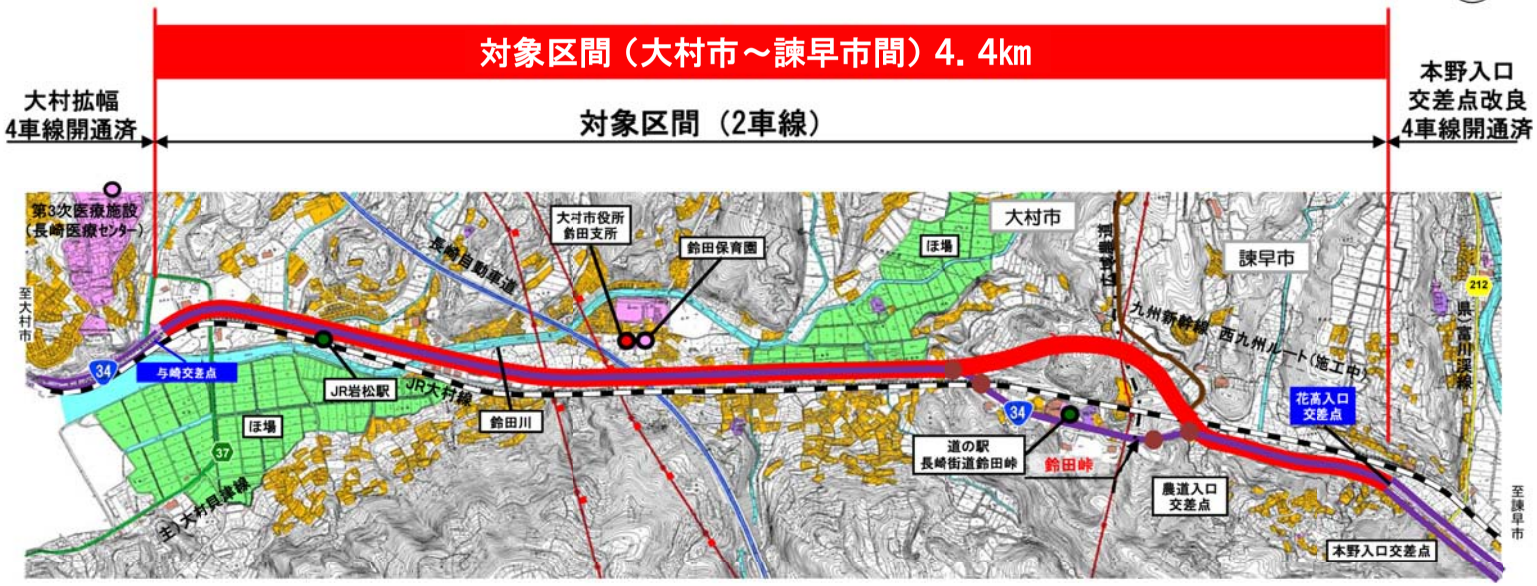
また、諫早北バイパス沿線では、大型商業施設を含む大規模住宅団地が事業中であり、２０２２年度には九州新幹線西九州ルートの開業も予定され、周辺環境の変化により交通量の大幅な増加も見込まれることから、本区間の４車線化の必要性はさらに増しています。

本国道が地域経済の活性化に極めて重要な役割を担う主要幹線道路であることから、「**大村諫早拡幅**」の**整備促進**について、より一層のご高配を賜りますようお願いいたします。

二本松ﾊﾞｽ停付近状況

与崎交差点付近事故状況

国道３４号大村諫早拡幅　要望区間



凡例

	一般国道（直轄国道）		その他の拠点施設
	主要地方道		神社・仏閣
	一般県道		商業施設
	ＪＲ線		集落
	市役所（支所）		ほ場整備区域
	公共施設		鉄塔・高圧線

- 国道34号4車線区間
- 国道34号2車線区間
- ルート
- 線形不良箇所（平面線形）

国道３４号は長崎県央地域の大動脈

(独)国立長崎医療センター

大型商業施設（イオン）

地域ポテンシャルを更に高めて、地域創生へ貢献

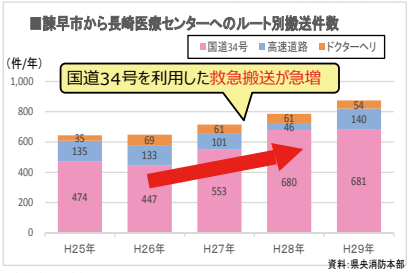
現　在　now

現状

全国初 EMTAC（医師同乗救急車）
平成２９年３月から運用開始

長崎医療センター内にある消防署機能を活かし、
高度な救命措置により、救命率の向上へ

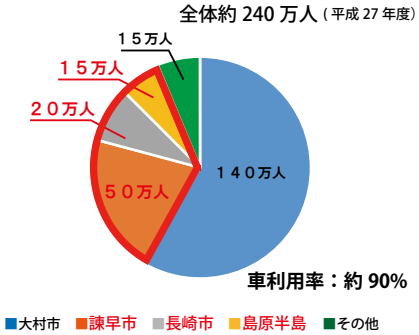
救急搬送件数は近年増加傾向
⇒EMTAC へ大きな期待（H29 年度平均５件 / 月）
（H30 年度平均６件 / 月）



４車線化整備によって

救命医療の速達性・信頼性の向上
救急車搬送１５分圏内のエリア拡大

大型商業施設
地域別年間来店者割合

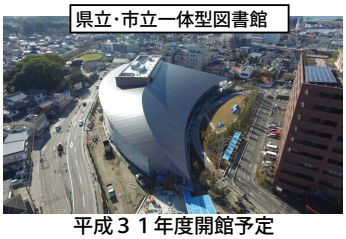


約４０％が大村～諫早を利用

将　来　future

将来ポテンシャル

県立･市立一体型図書館



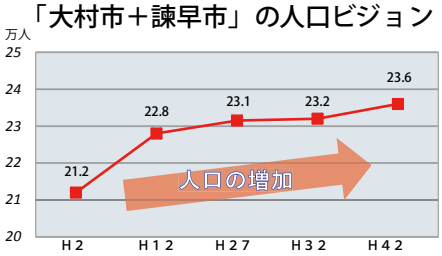
平成３１年度開館予定

木場スマートＩＣ

平成３０年３月開通

収蔵能力は九州で第２位、全国で第６位になる見込み

「大大村市＋諫早市」の人口ビジョン



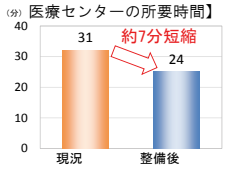
県内で最も人口が増加している元気な地域

新幹線新大村駅

2022年度開業予定

新幹線諫早駅

【消防本部（諫早市）～長崎医療センターの所要時間】



・島原道路の整備により
更なる地域交流の促進
・第３次救急医療施設へ
の速達性の向上

島原道路

＊「高速道路・空港・新幹線」高速交通ネットワークの充実

＊ポテンシャルを高めて、定住拠点・交流人口を促進

国道３４号は長崎県央地域の大動脈

産業連携強化で地域経済活性化を図り、雇用を創出

インフラ　　地域活性化

現　在　now

慢性的な渋滞が発生し、生産性を阻害

将　来　future

４車線化により円滑な交通が確保

交通利便性を活かした産業拠点の形成

要望区間の４車線化により、速達性・生産性が大きく向上

長崎工業技術センター

地域産業の技術開発支援機関

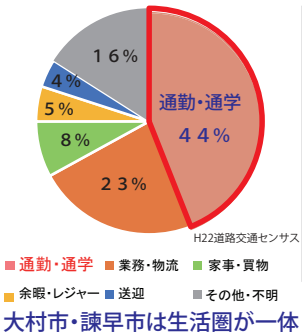
新工業団地（大村市）

雇用創出者数１，０００人

南諫早産業団地（諫早市）

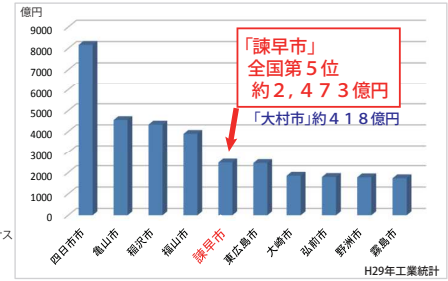
雇用創出者数１，５００人

大村市・諫早市間の移動目的



大村市・諫早市は生活圏が一体

電子部品・デバイス・電子回路製造品出荷額



ハイテク産業が地域経済を牽引

＊工業団地の拡張、高まる投資に応える交通ネットワークの充実

＊圏域の一体性を更に高めて、生産性の向上と雇用創出の促進